

作成日 令和 8 年 7 月 1 日作成

事務事業名				事業番号				担当課				(3)指標の推移				5年度	6年度	7年度	8年度	9年度	10年度											
やっちくふるさと村維持管理事業				1052				担当G 産業建設グループ				活動指標（実施状況）		単位	(目標) (実績)	(目標) (実績)	(目標) (実績)	(目標)	(目標)	(目標)												
まちづくりプラン (基本目標)				振興計画体系	3	<産業経済>大地の力と海の恵みを生かした魅力あふれるにぎわいのまち				予算科目		1	6	1	2	176000	ア 指定管理料の額		千円	7,000 7,000	7,000 7,000	7,000 7,000	0 /	0 /	0 /							
(個別目標)					4	地域資源を生かした観光のまち				主な費目		委託料				イ 直営管理の額		千円	0 /	0 /	0 /	4,548	1,800	1,800								
(施策)					1	観光資源の整備、活用				対象		やっちくふるさと村				成果指標（成果・効果）		単位	(目標) (実績)	(目標) (実績)	(目標) (実績)	(目標)	(目標)	(目標)								
(基本目標)					4	魅力的で、安心して暮らせるまちをつくる										ア 施設内での事故件数		件	0 0	0 0	0 0	0 /	0 /	0 /								
(施策)				5	観光パワーアッププロジェクト				事業期間		3 7	年度～ 年度（5年間）				イ 施設に関する苦情件数		件	0 0	0 0	0 0	0 /	0 /	0 /								
(1)総事業費の推移				単位	5年度 (実績・決算)		6年度 (実績・決算)		7年度 (実績・決算)		8年度 (計画・予算)		9年度 (計画・予算)		10年度 (計画・予算)		(4)評価		所管課による評価													
年間トータルコスト	事業費	財源内訳		国県支出金	千円													有効性評価	指定管理者の撤退後は、やっちくふるさと村としての機能は低下しているが、現在は道の駅としての機能を継続するため、駐車場とトイレ機能のみを開放している。事業廃止となると、来場者の利便性が失われる。													
		その他特定財源		千円																												
		一般財源		千円	7,473		22,033		7,500		4,548		1,800		1,800																	
		事業費計(A)		千円	7,473		22,033		7,500		4,548		1,800		1,800																	
		所要人員(年間)		人	0.200		0.200		0.200		0.200		0.200		0.200																	
人件費概算(B)		千円	1,120		1,120		1,120		1,120		1,120		1,120																			
(A) + (B)		千円	8,593		23,153		8,620		5,668		2,920		2,920																			
(2)事業概要																																
事業目的		本施設は国土交通省により登録された道の駅松山としての機能を有しており、利用者に快適な駐車場とトイレを提供している。																		効率性評価	駐車場とトイレの運営だけでは、施設の利活用が十分に発揮できない。維持管理だけでは費用に対する施設の有効活用の効果は低いと思われる。新たな利活用を見出し、費用を投じる必要がある。											
事業内容		やっちくふるさと村の敷地内施設の清掃、環境美化等の維持管理。																														
必要性		本施設は、平成8年度から平成10年度にかけて、農林水産省の補助事業により整備され、第3セクター方式で管理を行ってきた。平成18年9月から指定管理者制度に移行し、施設の維持管理と自主事業を行ってきたが、令和8年3月に指定管理者が撤退した。道の駅としての機能を有しているため、駐車場、トイレ施設の運営は必要。																		達成度評価	数値目標 目指す状況 実現性 情勢、環境の変化 事業期間						指定管理施設の維持管理については、これまで適切に管理されており特に問題はなかった。 新型コロナウイルス感染症などの影響により自主事業が思うように展開出来ない状況が続いていた。					
実施状況		駐車場とトイレは常時開放しているが、本館、ふれあい広場、宿泊施設等も清掃等の維持管理を委託することで、施設の適正な維持管理がなされている。																														
成果		道の駅としての最低限の機能は停滞させることなく、施設利用者に提供出来ている。																		改革改善案	拡充		○	現状維持		○	改善		効率化		廃止終了	
課題		令和8年4月以降の指定管理者の募集を行ったが、期限内の応募はなかった。施設や設備の老朽化、都城志布志道路全線開通に伴う交通量の減少等による集客が課題となっている。 また、道の駅の新たな活用についても検討する必要がある。																			老朽化に伴う施設や設備への費用投資、都城志布志道路の全線開通に伴う交通量の減少、市道沿線ということでの集客の見込みが少ないことが不安材料となり、指定管理の応募者がいない状況である。今後は、地域住民の意見を聞きながら、やっちくふるさと村の利活用、在り方を検討していく必要がある。											